


第 10 回

平成 26 年度

ベストエコドライブ・コンテスト筆記試験問題

< 一般常識 >

- 問 1 エコドライブを実践することによって、「地球環境に優しい」、「燃料費の節約」、「安全運転につながる」、「車両に優しい」の一石四鳥の効果があるといわれる。
- 問 2 1 時間のアイドリングで、ムダになる燃料消費量は、大型車で 1.0ℓ～1.5ℓといわれ、中型車で 0.7ℓ～0.8ℓになるといわれている。
- 問 3 睡眠時無呼吸症候群になると、睡眠時の呼吸停止と再開が繰り返されるために血圧が低下し、血液も固まりやすくなることから、糖尿病、狭心症、心筋梗塞、脳卒中など重大な合併症を引き起こすリスクが高まる。
- 問 4 不正軽油とは、主に灯油やA重油を不正に混ぜて、軽油と称して流通しているもので、これらの行為は、軽油取引税の脱税にとどまらず、環境汚染の原因にもなっている。
- 問 5 運輸安全マネジメントとは、安全最優先の意識を経営トップから現場の運転者まで浸透させるため、定められた手順、すなわち「Plan(計画)」、「Do(実施)」、「Check(監視)」、「Act(改善)」を継続的に繰り返すことによって、輸送の安全のレベルアップを図ろうとするものである。
- 問 6  「安全性優良事業所」認定の対象となるのは会社単位でなく、事業所単位であり、認定期間は 2 年間から最長 4 年間である。
- 問 7 人が目の位置を変えずに見渡せる範囲を視野といい、普通、静止時の視野は、片目で左右それぞれ 120 度くらい、両目で 180 度くらいである。
- 問 8 普通免許を取得してから通算 2 年（免許の効力が停止されていた期間を除く。）以上が経過すれば、中型免許の運転免許試験を受けることができる。

問9 次の絵は、薬事法における指定薬物成分が検出された脱法ハーブであるが、これ以外の指定されていない脱法ハーブであれば、「お香」や「アロマ」として販売されているものであるから、吸引して運転しても大丈夫である。




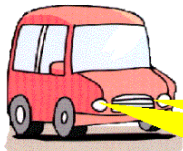
問10 事業者は、運転者の勤務終了後、継続8時間以上の休息期間を与えなければならないが、業務の必要上困難な場合には分割して与えることができる。この場合、分割された休息期間は、1日において1回当たり継続4時間以上、合計10時間以上でなければならない。

< 運転常識 >


問 11 車両は、道路のまがりかど付近、勾配の急な上り坂又は勾配の急な下り坂の道路の部分においては、他の車両（軽車両を除く。）を追い越してはならない。

問 12 後方の状況を確認するためにシートベルトをはずして後退し、その後再装着して前進した。

問 13  次の標識のあるところでは、道路を横断して右側にある施設に出入りすることは法令違反になるので、迂回してその施設へ行かなければならない。

問 14  夜間に前照灯を点灯する場合は、上向き点灯が原則である。ただし、対向車がいる場合は、前照灯を下向き点灯に切り替える。

問 15 車の運転者は、児童、園児などが乗り降りするために止まっている通学、通園バスのそばを通行するときは、徐行して安全を確かめれば一時停止する必要はない。

問 16  左の標識は、「身体障害者標識」である。

問 17 荷卸先から道路へ出る際、歩道に歩行者がいなかったため、そのまま歩道を通過した。

問 18 坂道ですれ違うときは、上りの車が停止して下りの車に道を譲るのが原則である。

問 19 事業者は、乗務前点呼及び乗務後点呼において、運転者に対し、酒気帯びの有無を確認しなければならない。

問 20 高速自動車国道を時速 80 キロメートルで走行中、3 秒間わき見運転した場合の走行距離は 88.8 メートルである。

< 車両常識 >

- 問 21 停止表示器材は、夜間 100 メートルの距離から前照灯で照射した場合に反射光を確認できなければならない。
- 問 22 日常点検を実施するときは、平坦な場所で、エンジンなどが冷えた状態で行う。
- 問 23 自動車の空気入ゴムタイヤに関し、接地部の滑り止めの溝は、タイヤの接地部の全幅のいずれの部分（ラグ型タイヤの一部部分を除く。）においても 1.6 ミリメートル以上の深さがなければならない。
- 問 24 ベーパーロックとは、フットブレーキを使いすぎるとブレーキ・ドラムやブレーキ・ライニングが摩耗のため過熱し、ドラムとライニングの間の摩擦力が減り、ブレーキの効きが悪くなることをいう。
- 問 25 エア・クリーナが目詰まりすると燃費が悪くなり、黒煙の量が増加する。
- 問 26 貨物の運送の用に供する自動車の車体には、車両重量を表示しなければならない。
- 問 27 車両総重量が 8 トン以上の貨物自動車の巻込防止装置は空車状態において、その下縁の高さが地上 500 mm 以下、その上縁の高さが地上 700 mm 以上でなければならない。
- 問 28 後輪が横滑りをしたときは、まずアクセルをゆるめ、後輪が横滑りした方向と同じ方向にハンドルを切って車の向きを立て直すようにする。
- 問 29 警音器の音の大きさ（2 以上の警音器が連動して音を発する場合は、その和）は、自動車の前方 7 メートルの位置において 112 デシベル以下 93 デシベル以上であること。
- 問 30 車両総重量 8 トン以上の自動車において、「ホイール・ナット及びホイール・ボルト」の緩み及び損傷の点検は、3 月ごとに点検を行わなければならない。